

2002年 西穂高へ行く

冬山情報 8号 1 / 7

昨年の12月29日の快晴以来、年末年始の北アルプスは予想通りの大雪でした。全国的な荒天だったので、遭難も多発し、大変な正月だったことと思います。ようやく、天候回復の兆しが見え、思い切って「新穂高スキー場」から「西穂高岳」方面へいってきました。前日からの天気予報では、「穂高連峰」はお昼ごろまでの勝負・・・

頑張って行きましたが、始発のロープウエーに乗れず、最もよい時の撮影ができませんでした。・・・残念です。

でも、早朝は、今年初めての「穂高連峰・槍ヶ岳」をはっきり望むことができ、最高によかったです。

今日の日程

滑川 6:00 - 猪谷 7:00 - 神岡 7:30 - 栃尾温泉 8:15 - 新穂高温泉
 駅 8:30 - ロープウエー乗り場 9:15 - <ロープウエー> - 頂上駅 10:00 - 西
 穂山荘 12:00 -
 独標の手前の稜線 12:30 - 西穂山荘 13:00 ~ 13:30 ロープウエー頂上駅 14:
 30
 - <アルペンスキ> - - ロープウエー乗り場 15:30 - 神岡 16:15 - 滑川 17:
 30

新穂高温泉への途中、道路の温度は、-9・・・非常に寒い気温の中、次第に槍ヶ岳・穂高連峰がその姿を現してきました。写真は、槍見台、槍見温泉の近くから撮影したもの。



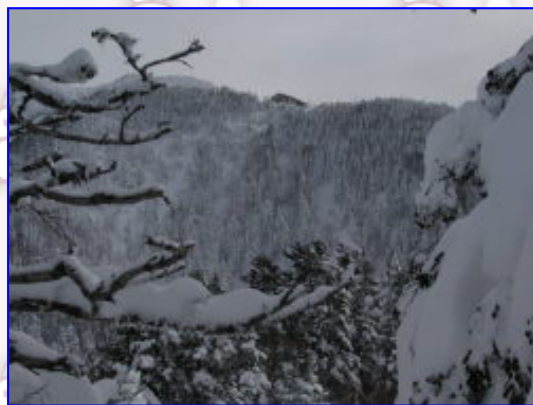
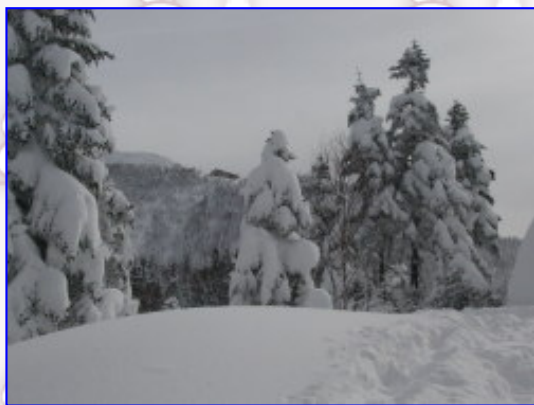
本当に久しぶりの「山らしい山」・・・槍ヶ岳を中心とした「穂高連峰」が見えたのである。

「笠ヶ岳」もしっかり見えたきた。

駐車場の若者によると、やはり久しぶりに見えた「笠ヶ岳」だそうである。



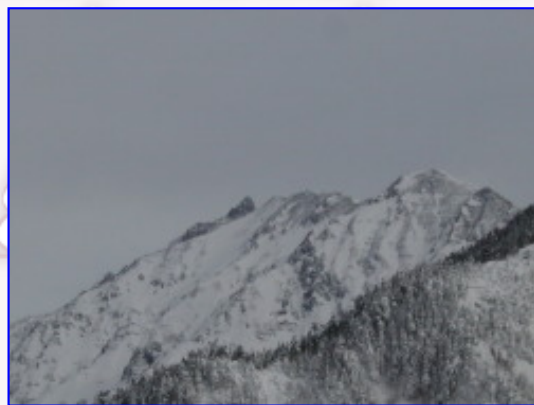
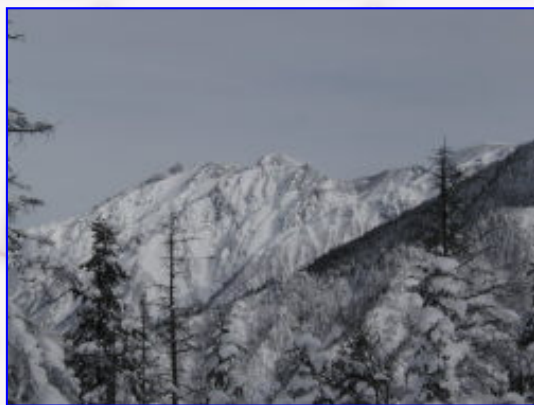
ロープウエーの頂上駅に到着、さすがに「寒い」・・・
天候はよいのですが、さすがの曇天の空では、光がかぶってしまい。写真は、光がかぶり「さめた色」になってしまった。写真は、頂上駅の付近からの「西穂山荘」2点。



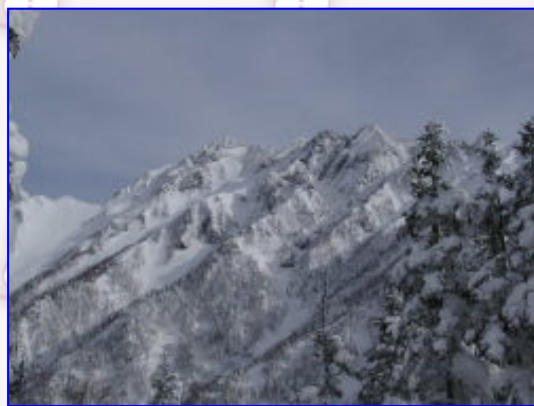
いよいよ、山荘についた。2枚目の写真は、稜線の取り付きからの「焼岳」「西穂山荘」



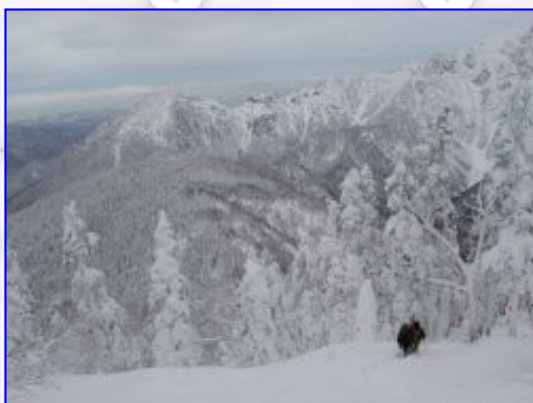
まずは、山荘までの登山道から、「槍ヶ岳方面の穂高連峰」
かぶった写真の色が、厳冬期の写真の厳しさを教えてくれる。



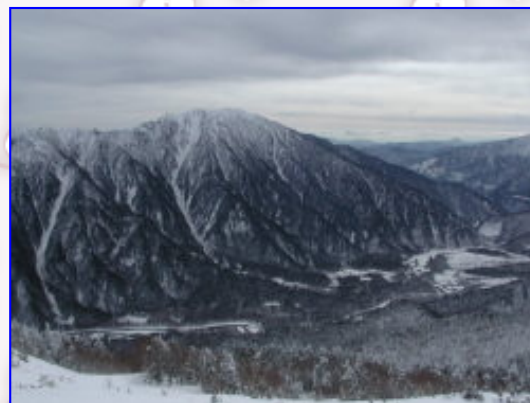
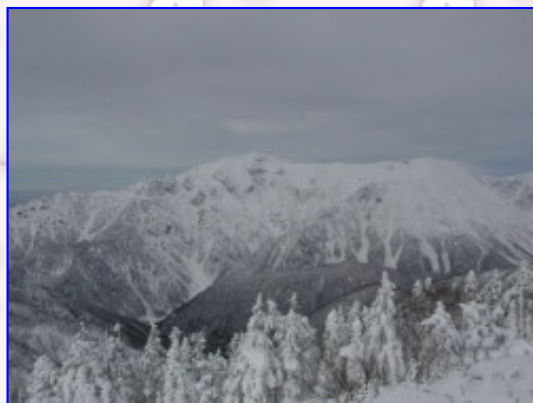
次は、稜線より、西穂高岳を望む。晴れ間ができれば、素晴らしい写真がとれたのに・・・



途中、西穂山荘まで一緒に登ったお二人。雪を二人で助け合いながらラッセルしている姿は微笑ましい。2枚目の写真は、「西穂山荘」の中にてのスナップ。毎年、正月中の忙しい仕事を終えてからの、このシーズンに必ず、来るそうです



稜線は、大変温度が厳しく・・・体感温度は、-20 には超えていると思う。左は、「笠ヶ岳」、2枚目上高地近辺の全体図。



天候が悪く、写真の条件はよくないが、一応撮影。左は西穂高岳、右は前穂高岳・・・

